



市民の文化に力尽す 「かずさ更級川」行事など

(株)ヒノックス

(株)ヒノックスは、千葉県市原市に本社を置き、千葉県全域にホールを展開する老舗企業です。ホールのほかに、飲食店、レンタルサイクル、広告代理店、損保、不動産業なども展開する、地元密着型の経営で、固い地盤を築いてきました。社長の日野文平氏は、日遊協2代会長の日野和喜氏の実弟、全国に広がる日野一族で、日遊協創設

の屋台骨を支えてきました。そんなヒノックス、もともと地域貢献には熱心に取り組んできましたが、最近、力を入れているのが、「かずさ更級川お花見大会」。

かずさ更級川とは、千葉県市原市五井の市街地から田園地帯を貫き、国分寺台の新市街

(上から)桜並木が美しいかずさ更級川、船上のお花見、お菓子やドリンクのサービスと防犯の呼びかけも



地を結ぶ緑道で、桜並木が美しいことで、市民はもちろんニュースなどで取り上げられ、全国に知られているサクラの名所。災害時の避難地や避難経路となるなど、市の公園緑地大系の軸として現在整備中です。市民にとって大切なかずさ更級川。お花見大会も単なるお祭りを超えた一大イベントになっています。

メインは、市有形民俗文化財である西広板羽目堰の技法を駆使してせきとめたかずさ更級川に架かる板羽目堰の優雅な景観を、船から鑑賞する船上のお花見。本年4月の大会ではフラダンスや十二単の着装披露、野点(のだて)など多彩な行事も行われ、たくさんの方が観光に訪れました。

ヒノックスではこの街をあげての大イベントに協賛。社員も参加してグループの飲食事業である「かめやうどん」を出店、イベントスタッフに昼食を振る舞いました。一般の観

光客にもお菓子やドリンクのサービスを行いました。



日常的に行われている五井駅周辺の清掃活動



「かずさ更級川DEお花見」でも、訪れた観光客にヒノックス社員が詐欺防止用PRティッシュを配布したり、防犯呼びかけを行いました。

ヒノックスの社会貢献活動としては、08年から始めたエコキャップ運動があります。13年1月までの実績では、117万7835個、ワクチン換算で1459人分もの貢献を行っています。

振り込め詐欺防止のPR

ところで、最近、千葉県でも多発する振り込め詐欺ですが、ヒノックスグループでは、この防止キャンペーンに全社を挙げて参加しています。パチンコ店の折り込みチラシの裏に、詐欺防止のPRを印刷したりして、呼びかけを行なっています。「かず

日常的な活動では、五井駅周辺の清掃活動を行っています。朝の9時頃10分〜15分間、社員4〜5人程で2年半程前から行っています。地域貢献をしていきたい。地域密着型企業を目指したいという思いから、身近でできる地域貢献の一つとして、今後も長く続けていきたいとしています。「かずさ更級川DEお花見」ほど目立つ活動ではありませんが、地元の人にもしっかり親しまれ、「よくやってくれる」と評判も上々です。